

第3次与謝野町総合計画基本構想(案)への意見に対する本町の考え方について

No.	目次	頁	ご意見要旨	本町の考え方	計画への反映			
					反映する	反映済み	今後の参考とする	反映しない
1	社会潮流	P11	【文化的な公共施設の充実について】 ○ 仕事帰りや休日に利用できる図書館や、地域の伝統産業（丹後ちりめん）を学べる展示・体験施設などが不足している。 ○ 中高生が放課後や試験期間中に勉強できる学習室を整備してほしい。 ○ 施設の「禁止」事項を見直し、誰もが気持ちよく過ごせる居場所づくりを進めるべき。 ○ 文化・教養はまちの発展の土台であり、公共施設の充実が子どもたちの学力向上にも繋がる。	図書館などの文化的な公共施設の充実に関する、ご提案をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、文化施設は豊かな地域社会を育み、学びの機会を提供する上で大変重要であると認識しております。基本構想においては「住民の理解と合意を大切にしながら、配置や規模の見直しを計画的に進めます」と大きな方向性をお示しております。 今後、この計画に基づき、個別の施設の機能やあり方について具体的な検討を進める際には、今回お寄せいただいたご意見も参考にさせていただきます。			○	
2	策定方針	P13	【計画の実効性の確保について】 ○ 計画に掲げられた多くの課題に対し、長期・短期の視点で優先順位をつけ、メリハリのある計画にしてほしい。 ○ 住民が計画の実現に協力・参加できるような仕組みづくりを求める。	計画の実効性を高めることの重要性について、ご意見ありがとうございます。いただきましたご意見は、今後の計画策定及び推進に反映してまいります。 総合計画の進行管理を行う短期計画である「実施計画」において、毎年度の重点事業を明確にし、メリハリのある施策展開を図ります。 また、住民の皆様がまちづくりに参加し、協働できる仕組みづくりが不可欠です。計画の策定・推進の各段階において、各種広報媒体での丁寧な情報提供に加え、皆様がまちづくりに参画できる多様な機会を創出してまいります。	○			
3	策定方針	P13	【住民意見の反映と分かりやすい計画づくりについて】 ○ 基本構想（案）に示されている「多様な意見を反映した、わかりやすく伝わる計画づくり」という方針に賛同しており、その積極的な推進を期待する。	本計画の基本姿勢にご賛同いただき、ありがとうございます。ご意見の趣旨である「多様な意見を反映した、わかりやすく伝わる計画づくり」は、既に本基本構想（案）の策定方針として掲げております。この方針に基づき、住民アンケートやパブリックコメント等を実施し、皆様からのご意見を計画に反映させる手続きを進めているところです。 今後、計画書を取りまとめる最終段階においても、図やイラストを効果的に用いるなど、誰もが内容を理解しやすい計画書となるよう工夫し、この方針を堅持してまいります。		○		

第3次与謝野町総合計画基本構想(案)への意見に対する本町の考え方について

4	策定経過	P18	【住民アンケートの手法について】 ○ 町の将来を決める重要な計画策定にあたっては、無作為抽出ではなく「全町民を対象としたアンケート」を改めて実施し、より多くの住民の真意を問うべきである。 ○ 無作為抽出による少数意見よりも、関心のある多くの住民が参加する全町民アンケートの方が、信頼性が高く、客観的な民意を測れると考える。町長の「住民の声を聴くことが町政の基本」という方針を実現するためにも、全町民アンケートが適切な手段である。	町政への高い関心をお寄せいただき、感謝申し上げます。より多くの皆様にご参加いただきたいというお気持ちに、私どもも共感いたします。 町の計画策定におけるアンケート調査では、町全体の意見を客観的に把握することが重要です。そのため、町では統計的に有効性が確立された「無作為抽出」による調査を基本と考えております。 この手法は、年齢や性別、お住まいの地域などに偏りなく、社会全体の縮図としてご意見を把握できる科学的で客観性の高い手法です。これにより、声の大きな意見だけでなく、日頃なかなか意見を表明する機会の少ない「物言わぬ多数派」の声も公平にすくい上げることができ、町全体の意向を客観的に推計することが可能となります。 今後も、この無作為抽出によるアンケートを基本としつつ、パブリックコメントや座談会など多様な手法を組み合わせ、皆様のご意見を丁寧に向ってまいります。					○
5	基本構想(案)	P23	【再生可能エネルギーの活用推進について】 ○ 脱炭素社会の実現とエネルギーの安定供給のため、再生可能エネルギー、特に太陽光発電の活用を推進すべきである。 ○ 役場やこども園などの公共施設へソーラーパネルを計画的に設置することや、民間建築物への設置を促す仕組みづくりを検討してほしい。 ○ 国や府に対し、周辺自治体と連携して再生可能エネルギー導入のための制度拡充や補助金を強く要望してほしい。	再生可能エネルギーの活用推進について、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 ご提案いただきました、再生可能エネルギーの活用による脱炭素社会の実現は、総合計画の基本構想に掲げる「地球環境に優しい取り組み」の重要な柱であると認識しております。 今後の計画の具体化にあたり、ご意見にありました公共施設への太陽光パネル設置の検討をはじめ、エネルギーの地産地消を推進することで、脱炭素社会の実現を目指してまいります。 また、事業展開には国や府の支援が不可欠であるため、北部7市町と連携し、補助制度の拡充や柔軟な制度設計を強く働きかけてまいります。		○			
6	基本構想(案)	P24	【スマートシュリンク（賢い縮小）の考え方の導入について】 ○ 人口減少社会に対応するため、将来の負担を増やさないようインフラや施設を計画的に縮小する「スマートシュリンク」の考え方を参考にすべきではないか。 ○ 住民の幸福度を保ちながら、データに基づいた丁寧な説明と合意形成のもとで行政サービスを見直すことを提案する。	将来を見据えた示唆に富むご提案、ありがとうございます。人口減少下で持続可能なまちづくりを進める上で、「スマートシュリンク」の視点は不可欠であり、本町の計画が目指す方向性と合致するものです。ご意見を計画に反映させてまいります。 今後の公共施設の適正化や行政サービスの見直しを進めるにあたっては、この考え方を基本とします。その際、ご指摘のとおり、現状や将来の見通しに関するデータを分かりやすくお示しし、住民の皆様との対話を重ね、十分な合意形成のもとで取り組んでまいります。	○				

第3次与謝野町総合計画基本構想(案)への意見に対する本町の考え方について

7	その他		【分かりやすい言葉での情報発信について】 ○ 計画書などに使われる専門用語やカタカナ語（例：デジタルデバイス、ランドデザイン、SDGsなど）が分かりにくい。 ○ 誰にでも理解できるよう、簡単な言葉で説明したり、注釈をつけたりするなどの配慮を求める。	専門用語等が分かりにくいのご指摘、ありがとうございます。ご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。いただきましたご意見を反映し、今後の情報発信の改善に努めます。 具体的には、計画書や広報物を作成する際に、できる限り平易な言葉で表現することを徹底します。やむを得ず専門用語等を使用する場合には、注釈を加えるなど、誰もが理解できる工夫を凝らします。 すべての住民の皆様、町の取り組みが正しく伝わるよう、分かりやすい情報発信に努めてまいります。	○			
8	その他		【情報格差（デジタルデバイス）に配慮した情報発信と意見聴取について】 ○ スマートフォンやパソコンを持たず、町のホームページを見ることができない住民がいることを踏まえ、このような情報機器の利用が困難な「情報弱者」の存在を念頭に、誰にでも分かりやすく、丁寧な情報提供や窓口対応を継続してほしい。 ○ 意見聴取にあたっては、ホームページを閲覧できない住民がいることを踏まえ、多様な方法で意見を聴取するとともに、投書箱への意見に対する返信もより迅速に行うよう要望する。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 本町では、行政サービスの向上や業務の効率化を目指してデジタル化を進めておりますが、同時に「誰一人取り残されない」社会の実現が極めて重要であると認識しています。いただいたご意見を今後の町政運営の参考とさせていただきます。 ご指摘の通り、デジタル機器の利用が困難な方への配慮は不可欠です。そのため、ホームページやSNS等のデジタル媒体による情報発信に加え、広報誌や回覧板などの紙媒体、防災行政無線、CATV、そして窓口における丁寧な対面対応など、多様な手段（デジタルとアナログの組み合わせ）による情報提供を今後も継続してまいります。 意見聴取につきましても、オンラインだけでなく、投書箱や郵送、窓口での受付等の多様な方法を維持してまいります。あわせて、より迅速に回答できるよう体制の改善に努めてまいります。			○	